

2021年度 市教委交渉まとめ

11月18日、市教委交渉を行いました。第一次回答はすでにニュースでお知らせしていますので、今回は交渉の中で明らかにしたことをお知らせします。

勤務の割振り

校長のメモはあるが、私的なものでメモはない...えっ？

市教委は勤務の割振りについてこれまで、「適切に行われている」、「校長がメモ等に対応している」としてきました。瀬教労は校長のメモを情報公開しましたが回答はありませんでした。監査請求を行っていますが、まだ回答はありません。

今回の交渉で、「メモ等はない」「私的なもの」と回答しました。勤務把握が私的なもので良いのでしょうか。校長は恣意的な時間管理を行っているというところになりま

す。客観的事実に基づき管理するのが校長でありそれを指導する市教委の役割です。



上：市教委
下：瀬教労

また、職員の超過勤務について「やむを得ない場合」「心苦しい」等との答弁がありましたが、本気の勤務時間管理の姿勢が欠けているといえます。

タブレット対策

使い方のスタンダード作成
健康障害は課題として認識

「タブレットの活用について、ネットなど使い方のスタンダードを作成し周知している。今後は使用の目的について吟味していく」と述べました。瀬教労の健康障害に対し、「課題として認識している」と回答しました。

日本語学級充実

予算の確認をする
日本語教室の独自の予算措置を要求しました。昨年は遠



隔操作システムの費用があったが、教材の購入ができないことを訴えた。予算については、「監査の説明できるかどうかであり、購入計画にあげてほしい」と答弁した。また、「日本語教室の予算について確認する」と述べました。

体育館の設備

冷風機はコロナ対策、エアコンの設置が基本、トイレ等は大規模改修時に

最近の気候危機の対策として、エアコンの設置を考えていると答弁がありました。冷風機は、コロナ対策予算設置。耐暑工事や避難所としての機能面で補助金が出るが、コスト面の検討をしているとのことでした。トイレ改修は、高齢者・身障者等のことも考慮して、①多目的、②洋式化を念頭に置き屋外トイレも合わせ順次改修していくということでした。壊れた箇所については、修繕依頼が出てから現場を見て改修すると回答しました。

古いPタイルは業者が撤去

床スレート撤去は市実施
今回、古いPタイルのアスベスト含有について初めてコメントしました。

※詳細は、HPをご覧ください。

中学生はつらいよ 英単語が倍増 先生もつらい 学習指導要領改訂！

子どもを苦しめる学習指導要領は一刻も早く撤回を！

「小学校で英語教科化」「中学校では英語で授業」、語いが倍増...上位1割の「グローバル人材」育成
2008年、教育再生懇談会（福田内閣が第一次安倍内閣の教育再生会議を引き継いで設置）が、中国や韓国への対抗から語彙を倍増にすることを決めた。

2013年4月、中央教育委員会審議会答申では、「小学校で英語教科化」「中学校では英語で授業」の方針はなし。

2013年5月、安倍晋三首相（当時）の私的諮問機関の教育再生実行会議が、「小学校で英語教科化」「中学校では英語で授業」の方針化。

2013年6月、「第2期教育振興基本計画」で、「小学校で英語教科化」「中学校では英語で授業」を閣議決定。理由は、「結果の平等主義から脱却し、トップをのばす」ため。

2020年度から小学校5、

6年で英語が教科に。600〜700語にふれるが、音声を中心。

2021年4月、中学校学習指導要領改訂。
「授業は英語で行うことを基本」。文法について「繰り返し使用すること、気づきを促進したりする」とし、文法が分からないまま授業が進むことも。さらに単語が上積みされ高校で学んでいた「仮定法」などの8種類が加わり、教える量が多すぎ、現場に悲鳴が。

英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」を重点に置いた内容で、原則授業は英語。4技能のうちスピーキングで「やり取り」と「発表」は英語でのプレゼンテーションが新たな追加。また、題材文に高度な理系分野の内容も扱われ文理融合のSDGsなどが取り上げられる傾向で幅広い知識、思考力や読み解くスピード、処理能力が問われます。
江利川和歌山大名誉教授（英語教育）は「1割のエリートを育成するために9割を切り捨てる安倍政権の負の遺産」と指摘している。「子どもが理解できるよう日本語も活用して授業し、学び合いを進めることが必要です。子どもを苦しめる学習指導要領は一刻も早く撤回させましょう」と呼び掛けている。

